



「ペットは家族 一生一緒」 フォトメッセージ展



入場
無料

1章 No Kill Countryをめざして
2章 保護活動によって救われた命
3章 ありがとう



Together Forever We Are Family



とき 8.20(木) ▶ 8.23(日)

各日 10:00~17:30(最終日は16:30まで)



ところ 軽井沢観光会館 2F展示スペース

TEL.0267-42-5538 軽井沢町軽井沢739(軽井沢銀座なかほど)
地図は裏面をご覧ください。



行き場を失った犬猫も新しい家族のもとで再び命を輝かせます。
救われた命は救った人間の世界をも輝かせます。
多くのみなさまに見て、感じて、考えていただきたい写真展です。
捨てない、ふやさない、里親になる。これが殺処分ゼロへの道。

*チラシに用いられている写真の犬猫たちは当会が今まで
に保護/譲渡した子たちです。



主催/軽井沢ペット福祉協会 制作・協力/NPO 法人 陽の会 (NPO PM)



軽井沢ペット福祉協会主催 フォトメッセージ展

昨年大好評だった、ペットと飼い主の絆を写真と文章で構成したフォトメッセージ展を、制作者であるNPO PM様のご協力のもと、今夏再び軽井沢ペット福祉協会が主催いたします。

捨てられて行き場のなくなった犬猫たちが新たな家族に迎え入れられ、再び命を輝かせ、動物も人もかけがえない愛情と幸せに包まれる様子を映し出した感動のパネル展です。現在の日本の捨て犬猫の現状を知っていただける貴重な体験でもあります。多くの方のご来場をお待ちしています。

*表面の写真の犬猫たちは当会が今迄に保護／譲渡した子達です。

軽井沢ペット福祉協会について

当会の設立のきっかけは、軽井沢の捨て犬や保健所の殺処分の現状を知った別荘族の原田直英氏の「不幸な犬を救いたい」との熱意でした。ペットの飼育放棄の防止と保健所の収容犬を救済したいという原田氏の想いに賛同する人々が集まり、2008年に会が発足いたしました。会の主な目的は、動物愛護の思想と適正な飼育の知識の普及、犬猫の飼育放棄や遺棄、虐待的飼育の防止、保健所の犬猫の譲渡推進、です。

発足時以来、初代会長の松葉榮三氏、そして2012年に会長就任した磯村尚徳氏のもと、人だけでなく動物にも思いやりのある、すべての飼い主が責任と愛情を持って犬猫を終生飼養することが当たり前の社会の実現を目指してまいりました。

NPO法人 陽の会 Positive Meeting (NPO PM)とは

文化活動(写真展等)を通して動物愛護を提唱。「命の大切さと人としてのモラルやマナーの向上」のメッセージを啓発するNPO法人で、「知ることは行動への第一歩 あなたの意識が変われば社会も変わります」をコンセプトにして「Together Forever ペットは家族一生一緒」をテーマに活動。

ペットを飼う家庭は増加しているが、人の都合で飼いきれず放棄したり、適正な飼養をせずに繁殖させ動物愛護センターに持ち込むという悲惨な状況が生じています。このような現状を広く社会に知ってもらうことを目的にフォトメッセージ展を各地で開催しペットと暮らす楽しさと終生飼育の徹底を訴えています。

2009年 六本木ヒルズ「umu」「Together Forever」「ペットは家族 一生一緒」フォトメッセージ展を皮切りに2010年より現在に至るまで、毎春「NHKふれあいホールギャラリー」においてフォトメッセージ展を開催。

NPO PM HP <http://www.npo-pm.org/>

日本の犬猫殺処分の状況

環境省による公表数。平成19年度：犬100,963頭、猫209,494頭、合計310,457頭。平成25年度：犬28,569頭、猫99,566頭、合計128,135頭。

「殺す行政から生かす行政」へ。自治体や保護団体の努力、「二酸化炭素による苦痛の伴う窒息死」である殺処分に対する社会の認知度の高まり、犬猫の「里親」になるという風潮の広まりにより、殺処分数は減少してきました。家族として迎え入れたペットを最期の時まで、愛情と責任を持って面倒を見ることで殺処分は確実に減少するのです。

また、肥大化したペット産業の陰で、劣悪繁殖業者やペットショップの劣悪環境下で人知れず死んでゆく犬猫たちの数は計り知れません。安易な命の購入で、犬猫が使い捨てされている日本の状況を変えてゆくのは、私たちひとりひとりの意識と行動にかかっています。

会の主な活動

軽井沢駅構内での啓蒙チラシの配布活動。

東京でのチャリティディナー／コンサートの開催。

犬猫の殺処分の現状を扱ったドキュメンタリー映画「犬と猫と人間と」の自主上映会開催(2010年)。

「ペットは家族 一生一緒 フォトメッセージ展」主催(2014年より)。

磯村尚徳会長及び会員飯塚脩獣医師による講演会の開催(2014年より)。

佐久保健所の収容犬猫の保護(引き取り)と譲渡。

犬猫の虐待的飼育や保護に関する相談受け。

*当会はシェルター運営はしておりません。里親探しなどの相談受付は致しますが、犬猫の引き取りには応じかねます。

犬猫の保護／譲渡活動

会発足時より、現在まで、犬猫あわせて50匹以上譲渡、または当会にて保護してまいりました。主に佐久保健所からの引き取りですが、その殆どが保健所収容の期限内の譲渡先が見つからない子たちや、行き場のない老犬／傷病犬です。数は多くはありませんが、どの子も確実に幸せにするための厳しい条件を満たすご家庭へ譲渡してまいりました。また譲渡の難しい老犬／傷病犬は会員宅にて最期まで愛情込めて面倒みております。

佐久保健所で2007年度の犬の殺処分数は243匹でしたが、保健所の努力と、保護団体、ボランティアとの連携、そして一般家庭への譲渡が進んだ結果、処分数は年々減少し、昨年は犬1匹(猫は19匹処分、11匹収容中病死)となりました。処分されたその犬は、飼い主が「凶暴で手に負えない」と処分依頼で持ち込んだのです。このように身勝手な理由で飼育放棄する飼い主が後を絶たないのも現実です。また、保健所には使い捨てされた猟犬や繁殖犬も多く収容されます。

ひとりでも多くの方々が犬猫の現状に目を向けて下さり、命を買うのではなく、里親になるという特別な道を選択し、終生飼養することを願います。それが殺処分ゼロへの道であり、その為にも当会も努力を続けてまいります。

軽井沢ペット福祉協会

会長：磯村尚徳

副会長：司葉子／佐藤元彦

事務局／〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-18-5 佐藤エーステートビル 6F

TEL.03-3499-1234 FAX.03-3407-6543

軽井沢町内連絡先／TEL.080-2566-9297

<http://pwskaruizawa.web.fc2.com/>

